

「できる限りの支援を」

ネパール中部を襲った巨大地震の被災地で支援活動を始めている国際医療NGO「AMDA」（北区伊福町3）は30日、AMDAグループの菅波茂代表（68）ら4人を派遣した。到着次第、支援活動を本格化させる。ネパール出身の県立大客員研究員、シュレスタジョシ・アルチャナさん（39）も加わる。出発前に記者会見した菅波代表らは「できる限りの支援をしたい」と語った。

【五十嵐朋子】



地震だけがするなどし、ネパールの大病院に運ばれた被災者ら

AMDA提供

イレなどの物資の配布も予定しているという。インドネシアやカンボジアなどのAMDA支部やアジア各国の協力団体から医師が現地向かっており、AMDAチームは総勢数百人規模になる見通し。

県立大看護学科で医

記者会見で「できる限りの支援を」と話す菅波茂代表（右端）やアルチャナさん（右から2人目）ら派遣チーム（北区奉還町2の国際交流センター）で



災地の映像を見ると胸がいつぱいで悲しい」と涙を浮かべ、「離れていて何もできない、調整役が集まるので、調整役

AMDA 新たに代表ら4人派遣

AMDAは、地震発生翌日の26日に最初の支援チームを派遣した。トイレが使えずに衛生環境が悪化し、飲み水も不足していると

の現地からの報告を受け、今回は巡回診療に加え、飲料水や携帯ト

「家族は無事だが、被災した2013年以

期待されている。

AMDA（086・

ネパール大地震

の町が被災し、友人宅や寺院が倒壊したという。アルチャナさんは

という気持ちだったのを務めたい。感染症が広がる危険があり、公衆衛生面の状況を見極めていた。

巨大台風に襲われた支援のための寄付を呼びかけている。

252・7700）は、支援のための寄付を呼